

なとり市議会だより

2024.11.1 No.188 令和6年9月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。



CONTENTS

- 議員が聞いたこんなこと…………… P 2
- 令和6年度中に新病院の建設予定地の
取得を目指します…………… P11
- 税金の使い道をチェックしました…………… P12
- N-WATCH 議会懇談会を開催します… P18

議員が聞いた

こんなこと

一般質問

一般質問とは

皆さんの生活に関わる大切な内容について市議会議員が市に対して質問を行います。9月定例会では、16人の議員から31項目の質問がありました。

一般質問を含めた本会議の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」から御覧ください。



公園

公園等維持管理の協力団体として企業等も認めるべき



板橋 美保

Q 公園等の維持管理の現状は。

A 都市計画課が所管する都市公園及びその他公園は189か所ある。小規模公園は随時職員が、大規模公園は業務委託により定期的に草刈り、樹木剪定や伐採に加え、公園の長寿命化計画に基づき遊具の点検及び改修などを行っている。地域の方々に構成される公園等愛護協力団体にもパトロールや草刈り、ごみ拾い等の愛護活動を行っていたらいい。

Q 公園等の維持管理を行う公園等愛護協力団体として企業等も認めるべき。

A 公園等愛護協力要綱に定める協力団体は、公園等の存する地域住民をもって組織する団体としているが、地域に存する企業の方々の参加を妨げるものではない。現要綱は単独の企業を協力団体とする想定はなかった。今後さらなる公園等の愛護意識の高揚につながるため見直しを図る。

Q 企業等が公園管理を応援するサポート制度やネーミングライツを導入すべき。

A 地域の憩いの場として、みんなで公園の環境整備をしていけるよう、要綱の見直しの内容等、方向性について検討する。

Q 障がい者の方の社会参加の機会を確保することを目的に、障がい者団体への公園の清掃や草刈り業務委託制度を設けるべき。

A 障がいのある方もない方も共生できるまちを目指し、要綱の見直しの内容について検討する。

質問した内容

- 1 公園等の維持管理
- 2 防災情報の見える化



政策

駅周辺のにぎわい創出に向け
意見交換をすべき



二階堂 充

教育

市立学校で発生した
重大事態への対応は



吉田 良

Q 令和6年12月29日をもって仙台ビール園が閉店、ピオトップ園も閉園するとのことだが、市に対して経過や今後の計画等について、情報提供がなされたのか。

A 令和4年2月にサッポロビール側から跡地活用について意見交換したいとの話があり、市でも様々な活用策を検討した経緯がある。現時点で方向性に関しては、ほぼ白紙状態と伺っている。

る。両施設がなくなれば、市民の憩いや交流人口及び地域のにぎわい創出の観点から、影響があると捉えている。

Q 都市計画マスタープランで、名取駅周辺はにぎわい拠点として位置づけられている。ホテルやアウトレックト施設などの建設の検討等、サッポロビール仙台工場とにぎわい創出に向け、意見交換や情報交換の場を設けるべき。

A 引き続き意見交換を重ねつつ、名取駅周辺のにぎわい創出の実現に向け、望ましい方向性を検討する。

質問した内容
1 名取駅周辺のにぎわい創出
2 増田西老人憩の家の今後

Q 重大事態の発生からこれまでの対応の経過は。

A 令和5年12月19日に教育委員会から、市内の中学生による飛び降り事案が発生したとの報告を受けた。

A 教育委員会では、直ちにいじめが疑われる重大事態と判断し、第三者委員会の立ち上げ等を行った。

Q いじめ防止対策推進法第30条に規定される重大事態が発生した旨の報告として受け止めたのか。

A 重大事態と認識した。

Q 報告を受けてから開かれた2回の総合教育会議は、市長が招集したものか。

A 市長が招集して行った。

Q それらの会議において、本件重大事態について協議しなかったのか。

A この事案についての話し合いは行っていない。

Q 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に、総合教育会議を設ける規定がある。本件重大事態が該当するとの認識はなかったのか。

A 調査委員会で進めるべき事案と捉えた。

Q 調査の仕組みを確認し、調整・協議するのが総合教育会議の役割ではないのか。

A 既に起きてしまったことは、対象外と捉えている。

Q 再発防止への対策の方向性を示すべき。

A 教育委員会と連携しながら取り組んでいく。

A 学校での取組をさらに徹底するよう指導していく。

質問した内容
1 良好な景観の形成及び保全
2 令和5年12月に市立学校で発生した重大事態

名取市総合教育会議
令和6年の開催実績
第18回 1月29日(月)
・名取市スポーツ推進計画について
第19回 5月30日(木)
・コミュニティ・スクールについて
・史跡雷神山古墳保存活用計画について
第20回 9月17日(火)
・名取市立学校における重大事態について

A 仙台ビール園は開業以来多くの方々が利用し、市でも団体との懇談等に幾度となく利用してきた。また、ピオトップ園は四季を感じることが出来る格好の散策場所として、多くの市民に愛されてきたと認識してい

Q 同施設は市民の憩いの場であり、市外から多くの人が訪れる民間施設として、交流人口増及び地域活性化に大きな役割を果たしてきた。今後閉店、閉園による影響をどのように捉えているのか。

公約を見える化し具体的な政策目標を市民に示すべき



大久保 主計

Q これまでの2期8年の市政運営の評価を伺う。

A 評価は市民の皆様からいただくものと捉えている。

Q 市長3期目の公約を伺う。

A 子育て教育先進都市など、本市が向かう9つの方向性を示した。

Q 聞く耳と対話のある市政の実現に向けて、今後4年間の市政運営を市民に分かりやすく見える化し、公約の具体的な政策目標を示すべき。

A 具体的な施策は掲げず、絶えず変化する環境に臨機応変に対応する。具体的な政策目標等は、長期総合計画や実施計画の中で評価と見直しを検討する。

Q 名取駅周辺のまちづくりの課題として、サッポロビール仙台工場解体後の利活用の調整に尽力すべき。

A 解体後の跡地利活用は、サッポロビール側に意見交換をお願いし、望ましい方向性を検討する。

Q 名取駅の東口はにぎわい

の場、西口は憩いと安らぎの場として、駅前に大きな緑地公園を整備してはどうか。

A すごく思い切ったアイデアだが、検討する課題は多い。

Q 駅前は名取の顔である。将来を考えて市が買い取り、主体性を持って駅前の開発・活用をしてはどうか。

A 非常にハードルが高い。何のために買うのかを整理できていない。そのため、そういうお話をするのは適切ではない。

質問した内容

1 市長の政治姿勢と市政運営

仙台岩沼線の交通渋滞を解消する道路整備をすべき



郷内 良治

Q 県道仙台岩沼線の交通渋滞をどう捉えているのか。

A 1日1万8千台を超える交通量があり、特に通勤通学時間帯において、慢性的な渋滞が発生していると捉えている。

Q 県道を挟んで西側の住民が農作業用機械や高齢者のシルバーカー等で、東側に横断することができない状況である。交通量を分散させる方策や考えは。

A 県道名取村田線から県道仙台岩沼線を越える別ルートを県に要望している。

Q 渋滞解消対策として、市道愛島台銅谷線の起点付近から県道岩沼蔵王線へのアクセス道路を新たに整備すべき。

A 提案の道路整備は、愛島台の住民や企業が県道仙台岩沼線を経由することなく、村田方面との円滑な往来に寄与する道路として有効と認識している。提案の道路に代わり、県道岩沼蔵王線と県道愛島名取線を直結する新設県道の整備に併

せて、市道上平愛島台線を県道にアクセスする新設市道の整備を他市町と共に県に要望した。今後とも愛島台地区の交通アクセス強化のため、新設道路の実現に向け強く働きかける。

Q 市道箕輪二ツ森線を市道道祖神愛島台線に接続すべき。

A 接続すれば愛島地区の道路ネットワークを強化するもので、有益と捉えている。引き続き、川内地区の交通安全対策に取り組みとともに、愛島地区の将来的な道路整備について検討を進める。

質問した内容

- 1 道路整備
- 2 農政問題
- 3 なとり夏まつりの在り方



中策
熱対

集団健康診査における暑さ対策を講じるべき



小野寺美穂

保健

HPVと新型コロナウイルスワクチン接種と勧奨を止めるべき



大友 康信

Q 令和6年6月4日から8月9日までに実施された集団健診で、エアコンが設置されている会場はあったか。

A エアコンが設置されていた会場はないが、市民体育館に試験的に導入されたスポットクーラー4台のほか、館腰小学校体育館では冷風機1台を使用して実施した。なお、10か所のうち公民館6か所と市民体育館では、待合室にエアコンが設置されている。

Q 7月10日頃からほぼ毎日30度を超え、ゆりが丘小学校や増田西小学校で実施された月末では33度を超えた。暑さ対策として、何か考えられたことはあったか。

A 扇風機を設置したり、熱中症対策として、保健センターで水を準備し、市民に声をかけた。

Q エアコンの設置等、暑さ対策を講じることが困難であれば、実施時期を変更すべき。

A 時期の変更は検討してしたが、委託している健診団体は、県内自治体の4割に当たる住民健診及び事業所の健診を実施しているため、日程調整が困難である。そのほか各種がん検診の集団検診時期の調整等、考慮すべき事案が多い。暑さ対策を検討しつつ、日程調整の可能性を探りたい。

Q 具体的に暑さ対策が講じられなければ「我慢してください」と市民に言うことになるが、どう考えるか。

A 暑い時期は個別診断に誘導する、また、時期を分けて暑さを避ける形での実施を検討をしたい。

- 質問した内容
- 1 集団健診
 - 2 庁舎の時間外利用時の暑さ対策
 - 3 医療・介護の負担軽減

Q 子宮頸がんの予防には、早期発見のための定期検診が有効で副反応の危険もない。効果と危険性を考えて、直ちにHPVワクチン接種と勧奨を止めるべき。

A 予防接種法第8条により、市町村長は予防接種を勧奨するものとする定められている。

Q 新型コロナウイルスについて、まれであるはずの健康被害は、これまでの他のワクチンと比較して非常に多い。これまでの総接種回数、健康被害の相談件数及び予防接種健康被害救済制度の申請件数は、

A 令和3年2月から令和6年3月までの総接種回数は25万6507回、健康被害の相談件数は54件、予防接種健康被害救済制度の申請件数は7件である。

Q 高齢者や基礎疾患のある方に新型コロナウイルスの定期接種が始まるが、レプリコンワクチンはさらに危険性が高いと推察されており、接種差し止めを求める

A 権限はない。活動や署名運動が活発化している。市長には接種の一時停止や中止できる権限はあるか。

Q 地方自治法の改正により、他の法律がない場合、緊急事態には、閣議決定だけでワクチン接種を強制される懸念がある。そのようなことがないように備えるべき。

A 緊急事態の際のワクチン接種に関しては、法令に基づき適切に対応する。

- 質問した内容
- 1 予防接種による健康被害



営宅
公住

長寿命化計画における 小豆島団地の見直しは



大泉 徳子

Q 市営住宅は、公営住宅等長寿命化計画に基づき維持管理されている。耐用年数を既に経過している棟があるが、今後の計画は。

A 2階建て長屋タイプは、計画に基づき防水改修等の修繕を行い継続し使用しているが、全ての棟が耐用年限である45年を経過している。今後の計画は、現在実施中の長寿命化計画改定業務において、将来必要とする市内全体の公営住宅戸数の推計を踏まえ、修繕、建て替えまたは解体等の検討を進める。

Q 今回の計画見直しは、今後予定されている県営住宅の用途廃止や集約が影響するの。

A 具体的にはまだ決まっていない。県の方針や民間のアパート等も含め、総合的な判断を加味し検討する。

Q アンケート調査によると、市営住宅小豆島団地には愛着を持って住んでいる方が多い。建て替えを視野に入れつつ、入り口階段にスロ

ープを設けるなど、より一層高齢者に配慮した改修を行うべき。

A 入居者の高齢化率が54%と、他の団地に比べても高い状況にある。高齢者等に配慮し、入り口階段にスロップを設置するなどの改修計画を検討する。

- 質問した内容
- 1 起業者への支援
 - 2 市営住宅小豆島団地の環境改善



熱中症
対策

武道場にエアコンを設置して 熱中症を予防すべき



佐藤 繁樹

Q 市民体育館武道場は、武道以外の体操教室などでも利用されている。武道に親しむ方だけでなく、幼児の利用や武道以外での高齢者の利用も一定数あると思われる、早急に環境を整える必要があると考える。武道場にエアコンを設置して、熱中症を予防し、安心・安全に利用できる環境を整えるべき。

A 令和6年度、市民体育館アリーナに試験的にスポットクーラーを設置した。外気温と比べ、3度から5度程度下がっている状態である。令和7年度以降の体育施設の空調設備については、市長部局と調整し、武道場も含めて検討する。

Q エアコン設置は早急に対応すべき事案と考える。令和7年度にも設置して運用すべき。

A 異常な暑さについては、非常に危機意識を持って注視している。市民が安心して運動できる環境を作っていくきたいが、運動施設は多

岐にわたることから、一概に武道場について申し上げることはできない。市全体としての体育施設の環境整備の在り方について、市長部局と調整しながら検討する。

- 質問した内容
- 1 障がい者スポーツの振興
 - 2 市民体育館武道場の環境整備



第一中学校の環境整備について
早急に取り組むべき



波 笹森

Q 愛島台地区から第一中学校へのバス通学における、これまでの課題を踏まえた今後の方針を示すべき。

A 一斉下校時に、バスに乗り切れない状況にあることは課題と捉えている。なとりん号の増便や教育委員会が所管するバスの運行など、教育委員会と連携を進める。

A 令和6年9月から、一斉下校時に教育委員会所管のバス1台を、なとりん号の時間に合わせて運行することで、課題の解消につながるか検証する。

Q 教育委員会所管のバスの運行が始まったが、10月以降の運行予定と課題は。

A 他の学校でも校外学習の際に利用しているため、重複しないように調整が必要である。また、運転手の確保にも課題があり、10月以降の継続運行の決定には、まだ至っていない。

Q 運転手の確保は。

A 新たに職員への大型運転免許取得のサポートを踏ま

え、検討する。

Q 他校と同様に給食用エレベーターを設置すべき。

A 新たに給食用エレベーターを設置する場合、場所が限定され、既存設備の移設等が必要であるなど課題も多く、難しい問題であると認識している。

Q 閉上小中学校は乗用と給食用エレベーターを兼用している。バリアフリー補助金を活用して、エレベーターを設置してはどうか。

A バリアフリーの観点から利用できる補助金なども含め、調査研究する。

- 質問した内容
- 1 ケアラー支援
 - 2 第一中学校の環境整備

事故防止等のため
録画中ステッカーを活用すべき



正義 阿部

Q 危険運転や交通事故、犯罪等の未然防止などの啓発として、ドライブレコーダーを設置している本市公用車に「録画中」ステッカーを付けるべき。

A あり運転など迷惑行為の抑止に一定の効果があるものと捉えている。ドライブレコーダーを搭載している全ての公用車に、ステッカーを設置する。

Q 「録画中」ステッカーを住民へ配布している自治体もある。本市も取り組むべき。

A 容易に入手可能なため、無料配布することは考えていないが、啓発は行いたい。

Q 他自治体ではステッカー配布対象者に、自治体の一斉情報配信サービスの登録を条件としている。本市では、ナトぼた等をダウンロードしてもらおうなどの取組につなげるべき。

A ナトぼた普及等に対して、様々な特典を付けることや、啓発といったことを進めていきたいが、今回の

件にひもづけては検討していない。

Q 他自治体では配布ステッカーに自治体の公式キャラクターが載せられている。市民が車に配布ステッカーを付け、市内や市外を走行した際、本市のアピールになると考えるが、見解は。

A マスコットキャラクターを広くPRしていくことは考えたいが、具体的な検討はしていない。

- 質問した内容
- 1 交通事故防止及び防犯対策
 - 2 市職員の意欲向上



防災
災害ケースマネジメントの
認識と検討状況は



菊地 忍

教育
スポーツの機会を確保するため
部活動の地域移行を



千葉 栄幸

Q 災害ケースマネジメントとは、被災者一人一人の被災状況や生活状況の課題等を、個別の相談等により把握した上で、必要に応じ専門的な能力を持つ関係者と連携しながら、当該課題等の解消に向けて継続的に支援することにより、被災者の自立や生活再建が進むようマネジメントする取組である。災害ケースマネジメントの認識と検討状況は。

A 令和5年5月、国の防災基本計画に災害ケースマネジメントの基礎、位置づけが明確化されたことに伴って、市の実施の方向性について検討を行い、令和6年3月に、地域防災計画に災害ケースマネジメントの実施を位置づけた。今後、来る災害に備え、円滑かつ的確な対応ができるよう、平常時から関係機関等との連携を図りたい。

Q 本市は、東日本大震災を経験し被災者支援に取り組んだが、震災から13年が経過し実務に携わった職員も



質問した内容
1 災害ケースマネジメント
2 学力及び体力向上

QA 機会を捉えて考えたい。地域防災計画の見直しを行ったとのことだが、修正した内容についてホームページに明記すべき。

A 例えば概要を掲載するなど、分かりやすくできるよう努めたい。

Q スポーツ推進計画の基本目標に対する施策の方向性に「子どものスポーツ機会の充実」を掲げている。近年、中学校の運動部活動において、部員不足により部の存続危機や、大会に参加できなくなる可能性がある学校・競技が出てきた。国が進めている中学校における部活動の地域移行についての進捗状況及び地域移行の手段について伺う。

A 令和6年2月に、市スポーツ協会、市文化協会、スポーツ少年団本部、校長会、市内中学校と情報交換会を実施し、全体的な課題や学校現場の声などを伺ったが、まだ具体的な方向性や手段に関する部分は進んでいない。

Q 国のガイドラインで示されているように、地域の持続可能で多様な環境の一体的な整備により、地域の実情に応じスポーツの最適化を図り、体格差を解消するとともに、中学生のスポーツの機会の確保・充実の

A 部活動の地域移行は、移行後も安定した活動ができるような受皿の整備や、予算を伴うといった課題がある。なかなか前に進まない状況ではあるが、令和6年度中に具体的な組織を立ち上げ、できるだけ早期に移行を進めていけるよう取り組む。

質問した内容
1 本市におけるスポーツ振興
2 Live119映像通報システム

安全
災害時にICTを活用し
被災状況・危険箇所の共有を



寺嶋 雅子

Q 情報化推進計画では、デジタル技術を活用した、災害緊急時における情報通信、被災者支援体制の確立を掲げている。既に本市にあるシステムを活用し、災害時の情報管理を拡充するとともに、LINE通報システムに災害時専用の通報窓口を設け、市民や消防団から被災状況・危険箇所の情報を画像データにより収集すべき。

A 運用中の通報システムとの使い分けの必要性や、技術的な課題等を検討する。

A 消防団員との連絡は無線を活用している。市民からの画像の収集は、撮影時の危険性を伴うことや、緊急性の判断が難しく課題が多い。導入には調査研究が必要である。

Q 浸水想定区域に浸水センサーを設置し、浸水状況を把握すべき。

A アンダーパス等の冠水危険性が高い公共物にセンサーを設置し、リアルタイムで浸水状況を表示するシステムの実証実験への参加検討など、先進事例を調査研究したい。

Q 災害発生時に被災状況を、ナトぼた、ホームページ、公式LINEで周知するとともに、市民の避難行動を促すため、なとりマップの防災安全情報マップを活用し、被災状況や浸水状況を市民とリアルタイムで共有すべき。

A 現状では、なとりマップの随時更新ができない。課題の整理や代替手段の導入可否を調査研究する。

- 質問した内容
- 1 アプリの普及・整理
 - 2 災害時のICT活用

教育
中学生いじめ自殺未遂への対応は



熊谷 克彦

Q 中学生の自殺未遂後、その生徒と保護者にどのようなケアを行ったのか。

A 生徒は入院しており、面会できなかった。保護者も付添い等があり、直接会うことはあまりできなかった。電話連絡で回復状況を聞きながら、進路についての相談等を行った。

AQ 保護者説明会の内容は、令和5年12月26日に、該当学年の保護者に事故の概要と経過の説明を行った。事故当日の午後から4日間、緊急カウンセラーを派遣してもらい、延べ26名の子供がカウンセリングを受けた。冬休み直前で十分なフォローができていないことから、生徒と個人面談を実施することも説明した。

Q 調査のやり直しについては、保護者から丁寧かつ真摯に、継続的に意見・要望を聞くべき。

A 調査の内容や進め方については、新しい委員による調査委員会で決めていくが、保護者や代理人弁護士

Q 保護者へ事前説明を行い、いじめの重大事態の調査に関するガイドライン等に沿って調査のやり直しを進めるべき。

A 文部科学省のガイドラインに沿って進める。

AQ 再発防止に努めるべき。いじめの未然防止やいじめの早期発見等に取り組みとともに、自死予防や児童生徒の心に配慮した対応などについて、さらに力を入れて取り組む。

- 質問した内容
- 1 中学生いじめ自殺未遂への対応

今後のなとりコインの展開は



佐藤さやか

Q 今後なとりコインはどのような展開されるのか。

A なとりコインの導入は、行政への市民参画促進、市民の利便性向上、地域経済の活性化を目的としている。令和6年度は、行政への市民参画を促進するため、研修会やボランティア活動への参加者、アンケート回答者などへ、なとりコインの付与を行うべく準備している。また、市民の利便性向上に向け、加盟店舗の拡大と地域経済の活性化に向け、なとりコインをチャージした方に、抽選でなとりコインが当たる利用促進キャンペーンの実施や、インセンティブ付与事業に取り組むことで、流通金額の増加を図る。

Q 普及を目指す上で、市民や利用可能店舗にとって、さらに利便性や還元性の高いものにすべき。

A 利便性や還元性は、非常に重要な視点であると捉えている。市民に対しては利用可能店舗の拡大を、加盟

店に対してはできるだけ改善要望に応えるなど、使いやすいシステムとなるよう努める。また還元性については、8月になとりコインをクレジットカードで累計5千円チャージした方を対象に、最大1万円分のなとりコインが当たる抽選キャンペーンを実施した。今後も普及に効果が見込める施策を工夫しながら、流通金額や決済金額の拡大を図れるよう取り組む。

質問した内容

- 1 市の情報発信
- 2 なとりコイン



● 9月定例会 議案審議 ●

名取市の
こんなことが決まりました

9月定例会 会期 9月5日～30日

9月定例会の議案は

市長提出議案 23件

報告	4件
専決処分	1件
認定	3件
条例	3件
補正予算	8件
同意	1件
議決案	3件
議員提出議案	1件
その他	1件
計	24件

提出された議案の概要は、市議会ホームページの「議案概要」を御覧ください。



Pick up 1

公共施設の使用料や各種手数料を改定します

令和7年4月1日より、受益者負担の適正化のため、使用料等を改定します。また、障がい者の方と介護者の方が市の有料公園施設等を個人利用する際に、使用料等が割引になります。

こんな質疑がありました

Q 公民館の使用料について、老朽化が著しいところや、まだ建て替え計画がない施設への対応は考えているか。

A 壁や床等が古いという面はすぐには解消できないが、机や椅子などの備品を新しく使いやすいものに更新するなど、利用する際の機能的な面について環境整備をすることで、新しい公民館との差の解消を図りたい。なお、有料となるのは、主に市外の方や企業、民間営利団体等による利用である。これまで減免で利用してきた市内の社会教育関係団体や公共的団体、町

内会等の方々は、引き続き無料である。

Q 高館公民館のように、老朽化のため地元から建て替えを要望されている公民館の使用料の値上げについて、納得のいく説明をしていただきたいが考えは。

A 他の使用料の関係と合わせて検討し、周知したい。

Q 使用料等の障がい者割引の実施内容については無料としているが、障害者手帳を見せればその場で無料になるのか、または事前に手続が必要か。

A 各施設の窓口で障害者手帳を提示していただき、確認することで進めたい。詳細な運用は、今後それぞれの指定管理者と協議する。

Pick up 2

令和6年度中に新病院の建設予定地の取得を目指します

こんな質疑がありました

Q 土地取得手続や、新病院への使用貸借時期など、今後のスケジュールは。

A 土地取得については、所有者のNTT東日本へ土地購入に係る要望書を提出し、社内検討等を経て仮契約を締結する。令和7年2月議会に土地取得の議案を上程し、令和6年度中に売買を完了させたい。また、日本赤十字社への貸付の時期や条件の整理は、新病院の計画などが明らかになった段階で協議を進めたい。

Q 新病院の建物など具体的な内容が公表されていない中、令和6年度中に土地取得を目指す理由は。

A 植松のバイパス沿線エリアの地価は上昇基調にあり、地価公示ベースでここ数年、約5割から8割の上昇が続いている。令和7年

度に繰り延べした場合、直近の上昇率7.9割と仮定すると約1億5700万円の積み増しが必要となる。早期購入は、総合的に得策である。

Q 例えばゆりが丘方面からは、現在の仙台赤十字病院のほうが近い。そのようなことは考えなかったのか。

A ゆりが丘から現在の病院まで約6分、植松入生まで約11分である。距離も時間も、倍ほどの負担になることは承知している。一方で、宮城交通と仙台市営バスを利用すると、現在の病院まで約600円の交通費と1時間弱の時間を要する。植松入生まで、なとりんくるを利用すれば、400円の交通費と30分程度の所要時間であり、利便性が上がる方もいると捉えている。

審議結果

▶ 賛否が分かれたもの

※ ○は賛成、×は反対

会議名	提出者	議案番号	件名	審議結果	議員名（議席番号順）																				
					阿部正義	今野慎介	佐藤さやか	佐藤繁樹	鈴木英信	寺嶋雅子	二階堂充	熊谷克彦	笹森栄幸	千葉美保	板橋主計	菅原和子	吉田良	大友康信	菊地忍	小野寺美穂	郷内良治	山田龍太郎	大泉徳子		
第4回定例会	市長	議案第93号	国民健康保険法等の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
		議案第94号	令和6年度名取市一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○

※地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっておりません。

今期定例会において全会一致で可決した議案を含む、審議結果の一覧は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」を御覧ください。



一般会計歳入総額

361億8,025万円

一般会計歳出総額

346億 347万円

市長から提出された令和5年度の決算について、財務常任委員会において審査を行いました。

財務常任委員会では、一般会計歳入を全体会で、一般会計歳出・特別会計・企業会計を3つの分科会で分担して審査を行いました。

決算審査のスケジュール

日にち	内容
9月20日(金)	本会議（総括質疑） 全体会（一般会計歳入補足説明）
24日(火)	全体会（一般会計歳入）
25日(水)	第1分科会 （総務部・企画部・消防本部ほか）
26日(木)	第2分科会 （生活経済部・建設部ほか）
27日(金)	第3分科会 （健康福祉部・教育部ほか）
30日(月)	全体会（分科会委員長報告・採決） 本会議（採決）

令和5年度
税金の使い道を
チェックしました
決算審査

財務常任委員会の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」から御覧ください。



総括質疑2

会派名 名和会

板橋 美保 議員

子どもの心のケアハウスなどの取組は

- Q** スクールソーシャルワーカー活用事業と、子どもの心のケアハウス運営事業の取組と成果は。
- A** 2名のスクールソーシャルワーカーが2296件の相談業務を行い、一部登校につながった。子どもの心のケアハウスには、延べ924名が通所した。正式通所していた8名の中学3年生全員が進学するなどした。
- Q** スマートストア運用事業の取組と成果は。
- A** 令和5年12月、実証実験として市役所に無人店舗がオープンした。キャッシュレス決済のためのアプリやレジ、監視カメラなどを整備し、運用を開始したことにより、検証のためのデータの蓄積が可能となった。

総括質疑1

会派名 日本共産党議員団 小野寺美穂 議員

採用後10年未満の離職状況は

- Q** 令和5年度に離職した採用後10年未満の正職員数と、精神的理由により1か月以上病気休暇を取得した正職員数は。また、中途退職（勧奨退職等を除く）者数の多い年代と最も勤務期間が短いケースは。
- A** 採用後10年未満で退職した職員は6人であり、精神的理由により1か月以上病気休暇を取得した正職員は20人である。また、中途退職者の一番多い年代は30歳代であり、最も短い勤務期間は2年である。

全体会

歳入について様々な角度から質疑を行いました

市税の納付では、方法別の納付割合や滞納処分等について質疑がありました。令和5年度から地方税共通納税の対象税目が拡大し、二次元コードを利用した方法が開始されました。本市でも市税4税目に対応しており、二次元コードを利用したアプリ決済やクレジットカード払い等のほか、地方税統一QRコード対応金融機関からの納付も可能となったことの説明がありました。

市税の課税では、税目ごとの増減理由等の質疑を行い審査しました。

そのほか、国・県からの交付金や補助金など、幅広い財源について様々な観点から審査しました。



総括質疑3

会派名 青雲倶楽部

二階堂 充 議員

飯野坂東部土地区画整理事業の取組は

- Q** 飯野坂東部土地区画整理事業の取組は。
- A** 農道館腰8号線では、31区間での用地買収や電柱等移設、拡幅工事を、農道館腰14号線では、延長145区間の測量設計を実施した。
- Q** 農業の振興として実施した、地域計画策定推進緊急対策事業の取組内容と成果は。
- A** 市内に10以上の農地を所有する耕作者を対象に、おおむね10年後の農業経営の意向調査を実施し、増田・高柳・大曲・館腰・愛島・高館の6地区において先行して協議の場を設けた。農業経営の不安や区画条件が均でないことによる集約など、それぞれの地域が抱える課題が浮き彫りになった。

第 2 分科会 サイクルイベントを開催しました

総務費では、個人番号カード等関連事務における事業の取組状況と課題等を審査しました。

衛生費では、環境啓発イベント事業の取組状況と課題等を審査しました。

農林水産費では、地域計画策定推進緊急対策事業の取組状況と課題等を審査しました。

土木費では、自転車等駐車場管理事務における放置自転車への対応と対策等を審査しました。

商工費では、サイクルツーリズム推進事業における実施状況と効果等を審査しました。

水道事業会計では、配水管網漏水調査業務の実施状況と効果等を審査しました。



第 1 分科会 デマンド交通の運行が始まりました

総務費では、職員の育児休業の取得状況、ふるさと寄附金の収支状況と制度の在り方、なとりスーパーキッズ育成事業の委



託状況、長期総合計画中間見直しのための市民意識調査の取組内容、デマンド交通「なとりんくる」の運用状況、女性活躍支援事業の委託状況等について審査しました。

消防費では、危険物施設、防火対象物の査察指導の実施状況、多言語通訳コールセンターへの委託状況、消防団員の活動範囲と出動状況、防災ラジオ販売業務委託における販売実績とラジオ聴取困難地域への対策、飲料水兼用耐震性貯水槽の維持管理状況等について審査しました。

賛成

寺嶋 雅子 議員
(一般会計)

歳入では、収納方法の多様化を評価する。キャッシュレス決済の普及に向け取り組むべき。

文書管理・人事給与システムの導入では、庶務事務の負担軽減等につながったことを評価する。超過勤務など、事務量の見直しにつながることを望む。

子育て支援拠点サテライト事業では、近隣に子育て支援センターのない親子同士の交流や、孤立感解消への取組を評価する。

消防の多言語通訳コールセンター委託では、外国人の安心・安全のため、18か国語の緊急通報に対応したことを評価する。的確な対応に向け、継続した訓練に努められたい。

このよう な理由で、
令和5年度決算審査 賛成しました
討論

第 3 分科会 手話言語条例を推進しました

民生費では、手話言語条例推進事業の取組と実績、計画相談・障害児相談支援事業の取組と実績、ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業にお



ける通報の実態と普及の取組等を審査しました。

衛生費では、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業による保健指導内容や実績等を審査しました。

教育費では、市内小中学校の校舎等修繕の実績、生涯学習推進事業の取組と実績、学校・家庭・地域連携協力推進事業の取組内容と実績等を審査しました。

国民健康保険特別会計では、被保険者数の減少と保険給付費増額の要因等を審査しました。

賛成

大友 康信 議員

(一般会計)

令和5年度、本市では新型コロナワクチン接種後に死亡した2名と副反応の被害1件、国内では死亡した835名とその他を合わせ8153件が健康被害として認定された。予防接種健康被害救済制度の申請件数は、今なお毎月200件以上増えており、本市には申請していない方がいると推察する。体調不良に悩む方を、1人でも多く申請につないでいただきたい。

本市の消防職員が、全国消防救助技術大会へ宮城県代表として出場し、健闘されたことをたたえたい。様々な訓練により救助技術を高め、市民の生命と財産を守るための能力を一層向上するよう努めていただきたい。

賛成

小野寺 美穂 議員

(一般会計)

令和5年度は、精神的理由により1か月以上病気休暇を取得した正職員が20人とのことであった。メンタルヘルス事業などに取り組んでいるとのことだが、真の意味で明るく働きやすい風通しのよい職場環境を整えるべく努められたい。

地域計画策定推進緊急対策事業において、農業経営の意向に関する調査を行った結果、約24%が「10年以内に農業を辞めたい」と答えている。農業機械や体が動く間は続けるが、息子に継がせる気はないなどの理由が挙げられている。市の基幹産業である農業を安定して継続できる取組を進めていただきたい。

緊急質問

本市に整備が計画される新病院の開院時期の延期について

吉田 良 議員

9月30日の本会議において、議員から宮城県知事が県議会において発言した新病院の開院時期の延期について、緊急質問が行われました。緊急質問は、議員からの緊急質問の動議が提出され、可決後、日程を追加して行われました。

Q

令和6年9月19日、新病院に無償貸与する用地を購入するための19億9千万円を含む補正予算が本市議会で可決された。ところが9月26日、知事は県議会9月定例会で、新病院の開院時期が当初の予定から2年ほど遅れる見込みである旨の発言をした。本市に対する説明の状況は。

A

9月26日の朝、報告があった。

Q

突然の発言への感想は。

新病院が立地することにより変わりはなく、しっかりと協議を行っている結果であると受けとめている。やむを得ないと感じている。

Q

さらなる遅れを想定し、土地の購入は様子を見てからのほうが良いのではないかと。

A

地価が年々上がっている中、法的拘束力がある基本合意がなされたことから、コストを抑えて取得する判断に至った。

Q

何に時間を要していると言明されたのか。

年内に基本構想を示すため、協議が行われていると捉えている。

Q

整備地を無償貸与する市として、県に対し、基本構想の協議状況を含む情報の逐次提供を強く求めるべき。

A

県が主導する事業であり、最初に県議会に報告することが原則と捉えている。一方、本市としては、できるだけ早い段階で情報をいただきたいため、引き続き県に申し入れしていく。

委員会活動報告

7月に各常任委員会の行政視察を実施しましたので、お知らせします。

各常任委員会では、これらの学んだ成果を生かし、積極的に活動を展開しています。

委員会調査報告書は、市議会ホームページで御覧いただけます。



総務消防

愛知県知多市・愛知県蒲郡市・愛知県半田市を視察しました

知多市では、地域住民と市が連携をし、課題の早期解決や現状の改善を図るため創設した地域担当職員制度の取組について調査しました。

蒲郡市では、投票済証や選挙手帳などの活用、期日前投票所の環境整備など、投票率アップに向けた取組について調査しました。

半田市では、市民がスマ

ートフォンなどを利用し、地域の課題を共有・解決、また、災害時には被害状況などの連絡手段として活用されているマイレポはんだの概要と取組事例について調査しました。

今回の調査事項を参考に、地域活性化を促進するために生かしていきたい。

建設経済

香川県坂出市・香川県丸亀市・兵庫県姫路市を視察しました

坂出市では、坂出駅周辺再整備基本構想における現状と方策について、そこに暮らす人たちが自らの意思と責任で、地域の姿を考える市民や民間との共創等を調査しました。

丸亀市では、丸亀市観光戦略プランについて、インバウンドを含む観光戦略及び日本版観光地域づくり法人(DMO)の基本事項等

を調査しました。

姫路市では、次世代自動車の導入促進やCOOL CHOOCE推進等を通して、市民や事業所、行政が連携・協力し、脱炭素に向けた温室効果ガス削減意識を醸成するための取組等を調査しました。

民生教育

熊本県荒尾市・福岡県北九州市・福岡県福岡市を視察しました

荒尾市では、中学校フリースクール事業を調査しました。不登校状態にある子供を受け入れるハートフルルームを設置し、送迎を行っています。

北九州市では、ヤングケアラー支援と障害者スポーツセンターについて調査しました。ヤングケアラーの相談窓口を設置し、ヘルパー派遣等の対応を進めてい

ます。また、障がい者の利用拡大のため大規模なバリアフリー化等で障害者スポーツの普及促進に努めています。

福岡市では、認知症ライフサポートワーカー養成について調査しました。認知症の方やその家族の環境改善、地域への働きかけ等を行う人材を養成しています。

No.1

人事案件に同意・可決しました

今期定例会には、4か件の人事案件が提案されました。

◎名取市教育委員会委員

(9月5日上程・同日原案同意)

布田 久美子氏(大手町)

◎人権擁護委員候補者

(9月5日上程・同日原案可決)

齋藤 幸造氏(植松)

木村 智子氏(ゆりが丘)

荒井 美穂氏(増田)

No.2

議員提出議案について

市議会では9月定例会において「議員報酬調査検討特別委員会の設置について」を全会一致で可決し、市議会における適正な議員報酬について、調査及び検討を行う特別委員会を設置しました。

No.3

議員協議会(8月22日)

使用料及び手数料の改定等について及び新一般廃棄物最終処分場候補予定地の選定経過について説明がありました。

No.4

議員協議会(9月4日)

館腰公民館改築工事の基本設計(案)について、名取市第六次長期総合計画後期基本計画(案)について及び令和7年度国民健康保険税税率改正について説明がありました。

議会を傍聴しよう

会議はどなたでも傍聴することができます。会議の日程は、市議会ホームページで御確認いただくか、議会事務局(022-384-2109)へお問い合わせください。



議会を読もう

名取市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。バックナンバーは、ホームページでも御覧いただけます。



議会に参加しよう

議会に対して陳情などを提出することができます。

陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。

議会を動画で見よう

本会議の様をインターネットで中継(生中継・録画中継)しています。ぜひ御活用ください。

※スマートフォンやタブレット端末での視聴にも対応しています。



会議録を読もう

本会議及び財務常任委員会等の会議録をインターネットで公開しています。詳細な議論の内容の確認に、ぜひ御活用ください。



令和6年12月定例会は、
12月2日(月)
開会予定です。

N WATCH

エヌ・ウオッチ



隊長 **えんどう いさみ** 遠藤 勇さん

今号の表紙を飾ってくれた、名取市鳥獣被害対策実施隊の皆さんからお話を伺いました。

日頃どのような活動をしていますか

わなを設置し、年中その見回りを行うほか、農作物の被害防止として春と秋に2回ずつ有害鳥獣捕獲を行っています。

熊と遭遇したときの対処法は

まずは熊に背中を向けないように。近づいて来なければ、様子をうかがいながら極力音を立てずに後ずさりし、静かに離れてください。

実施隊に熊出没の連絡があったときの動きは

自主的にパトロールを行うとともに、状況によりわなを設置する等の対応を行います。
活動に興味がある方、連絡お待ちしております。

議会懇談会を開催します

市議会では、より近くで皆様の声をお聞きするため、議会懇談会を開催します。

今年は、カフェのようなリラックスできる雰囲気の中で意見交換を行うワールドカフェ方式で実施します。

全議員が3班に分かれて各会場に伺いますので、ぜひ皆様の議会や市政に対する声をお聞かせください。

申込み方法

11月6日(水)までに右記の二次元コードからお申し込みください。



開催日時	会場	内容
11/6 (水) 午後4時	仙台高専 名取キャンパス (仙台高専生のみ)	テーマ：①駅周辺のにぎわいづくり ②名取市のいいと思うこと、 残念に思うこと
11/13 (水) 午前10時	文化会館 和室	対 象：子育て中の市民 または子育てに関心のある市民(お子さん同伴可。 託児はありませんので、御了承ください。) テーマ：子育て全般に関すること ※会場の都合により、先着20名までとします。
11/15 (金) 午後5時	増田公民館 講義室	対 象：市内在住、または市内に通学する高校生 テーマ：名取のイイところワルイところ何でも話そう

編集後記

笹森 波

暑くて長かった夏の終わりと秋の気配を感じる9月、定例会では令和5年度の決算審査が行われました。大切な税金がどのように使われたのか、どんな効果をもたらしたのか、幅広い視点から慎重な審査を行いました。

11月には議会懇談会を開催します。市民の皆様との意見交換がさらに有意義になる

よう、ワールドカフェ方式で実施します。初めての試みですが、より多くの声を聞き、市政に反映していけるよう努めます。

市民の皆様に関心される議会を目指し、より一層努力を重ねてまいります。寒くなるこれから、ご自愛ください。



名取市議会の情報はこちらから

名取市議会

検索

